

平成27年度 りんご技術情報（第3号）

大崎農業改良普及センター
TEL：0229-91-0726
平成27年7月

< 生育状況 >

本年の生育状況は、発芽期から満開期まで平年より早く推移し、その後も好天が続いたため、7月10日時点の果実肥大は良好で、果実の大きさは過去10年間で最も大きくなっています。

表1 平成27年度 果実の肥大状況（調査地点：色麻町）

品種		タテ径	ヨコ径
ふじ	本年(mm)	53.4	57.0
	平年(mm) 平年比	44.2 121%	46.1 124%

< 病害虫情報 >

○ハダニ類の防除情報が発表されました

宮城県病害虫防除所が6月15～18日に行った巡回調査の結果、ハダニ類の1葉あたりの寄生頭数は0.11頭（平年値0.02頭）で平年よりも多く、発生地点率は33.3%（平年値8.9%）で平年よりも高い値でした。寄生種の多くはナミハダニですが、一部のほ場ではリンゴハダニの寄生も見られています。

○発生予察情報（8月上旬までの発生予報）

表2 病害虫発生予報（宮城県病害虫防除所 平成27年7月7日発表）

病害虫名	発生量	予報の根拠
斑点落葉病	平年並	<ul style="list-style-type: none">巡回調査の結果、新梢葉における発生地点率は平年より低く、発病葉率は平年よりやや低かった。徒長枝における発生地点率は平年よりやや低く、発病葉率は平年よりやや高く、一部で発生程度の高い園地がみられた。（－）高温多湿が発生に好適であり、向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並または多い予報となっている。（＋，＋）。
キンモンホソガ	やや少	<ul style="list-style-type: none">巡回調査の結果、発生量は平年よりやや少なかった。（－）20～25℃の気温が発生に好適であり、向こう1か月の気温は高い予報となっている。（±～＋）
ギンモンハモグリガ	少	<ul style="list-style-type: none">巡回調査の結果、発生は確認されなかった。（－）

アブラムシ類	やや多	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回調査の結果，発生量は平年より多かった。(＋) ・乾燥が発生に好適であり，向こう1か月の降水量は平年並または多い予報となっている。(±～－)
ハダニ類	多	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回調査の結果，発生量は平年より多かった。(＋) ・高温乾燥が発生に好適であり，向こう1か月の気温は高く，降水量は平年並または多い予報となっている。(＋，±～－)

注) 予報の根拠…(＋)：多くなる要因 (±)：平年並になる要因 (－)：少なくなる要因

○防除のポイント

・主要病害

今後斑点落葉病，褐斑病，輪紋病の重点防除時期となります。定期的に予防防除を行ってください。

・ハダニ類

管内でもナミハダニを中心に発生が確認されています。表2のとおり，発生量は「多」と予報されています。隣の岩手県でも県下全域にハダニ類が多く確認されており，岩手県病害虫防除所から注意報が発表(6/8)されています。

今後高温が続く場合には発生の急増に注意し，1葉当たり3頭以上寄生している場合は速やかに殺ダニ剤を散布しましょう。園内の除草作業（除草剤散布，草刈り）と殺ダニ剤散布日が近接する場合は，除草作業後に殺ダニ剤を散布してください。

宮城県では，平成27年6月1日から平成27年7月31日を農薬危害防止運動期間と定め，農薬の安全適正使用を推進しています。農薬使用の際には，以下の点に注意しましょう。

- 使用・販売する農薬の農薬登録を確認しましょう
- 農薬容器のラベルをよく読みましょう
- 周辺環境や近隣住民に配慮しましょう
- 農薬散布作業中・作業後の事故に注意しましょう
- 農薬を保管する際には鍵をかけましょう